LAC supports your Business

We provide IT total solutions
based on advanced security technologies.

LAC
ともに、イキル

2021年3月期 通期決算説明資料

2021年5月12日

株式会社ラック

2021年３月期 通期決算概要

通期決算のポイント

新型コロナウイルスの影響により第１四半期は一部苦戦
オリンピックなどに向けて人員体制強化を図っていたのが利益面に大きく響く

その後、第２四半期の進捗を鑑みて昨年11月に通期業績予想を下方修正

第４四半期にセキュリティ対策サービスが順調に拡大

㈱日本貿易保険での仕掛品等が長期滞留していることから
会計監査人と協議し評価損として特別損失を計上※

**親会社株主に帰属する当期純利益は特別損失の計上で減益となったものの
売上高、営業利益は増収増益**

セキュリティ事業は過去最高の売上高を更新、前期に比べ増益で着地

※㈱日本貿易保険との契約の取り扱いについては協議継続中。

連結決算ハイライト（前期比）

新型コロナウイルスの影響を受けつつも増収
セキュリティ事業の人員体制強化や社内IT投資、社員向け特別支援一時金の支給等があったものの増益
長期滞留仕掛品評価損の計上により当期純利益は減益

（百万円）

科目	'20年3月期 通期実績	'21年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	**40,466**	**43,693**	**+3,227**	**+8.0**
営業利益	**1,767**	**2,117**	**+350**	**+19.8**
営業利益率%	*4.4*	*4.8*	*+0.5p*	-
経常利益	**1,869**	**2,242**	**+372**	**+19.9**
経常利益率%	*4.6*	*5.1*	*+0.5p*	-
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,091**	**304**	**△786**	**△72.1**
自己資本当期純利益率（ROE）%	**9.4**	**2.6**	*△6.8p*	-

（注）在宅勤務等の負担に対する全社員への特別支援一時金の支給として約70百万円を計上しています。
長期滞留仕掛品評価損1,248百万円を特別損失として計上しています。

セグメント別業績（前期比）

セキュリティ事業は過去最高の売上高を更新、前期比で増益へと転換
SI事業も増収増益で過去最高益を更新

（百万円）

売上高	'20年3月期 通期実績	'21年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	16,446	18,659	+2,213	+13.5
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	24,019	25,033	+1,013	+4.2
合計	40,466	43,693	+3,227	+8.0

セグメント利益	'20年3月期 通期実績	'21年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,438	2,541	+103	+4.2
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	2,905	3,172	+266	+9.2
合計	5,344	5,714	+370	+6.9
全社共通費用	△3,577	△3,597	△19	-

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

セグメント別業績ポイント　セキュリティソリューションサービス（ＳＳＳ）事業

セキュリティ事業は全般的に拡大基調となり増収、人員体制強化等があったものの増益

●コンサルティングサービス
教育サービスは苦戦したものの、猛威を振るったサイバー攻撃に対し企業への緊急対応サービスが大きく伸長

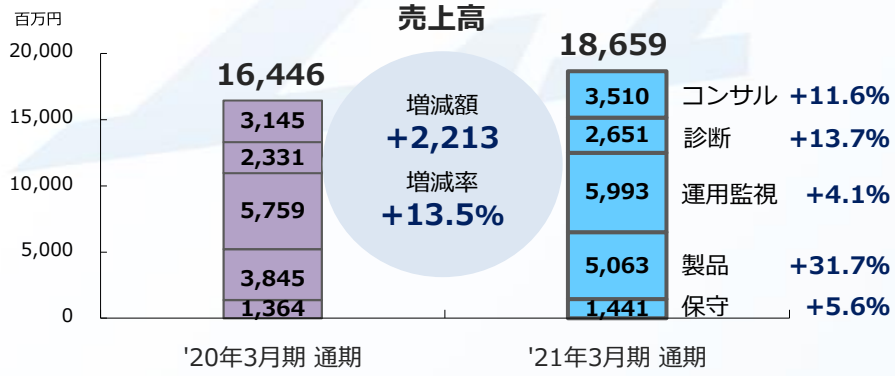
●診断サービス
第1四半期は苦戦したものの、第２四半期以降、Webアプリ診断やプラットフォーム診断が拡大し、IoTセキュリティ診断サービス等の新サービスも拡大

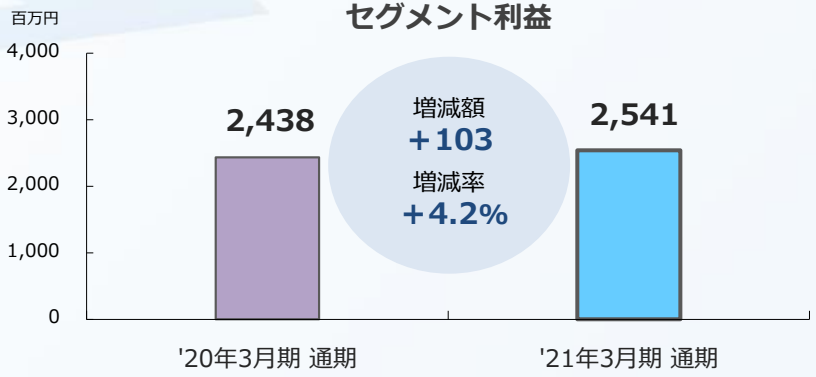
●運用監視サービス
中部地域大手製造業グループ向けなどの運用監視サービスの売上が拡大

●製品販売
サービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策をはじめとするクラウド対応製品などが拡大

●保守サービス
既存案件の更新等により増加

セグメント利益は、人員増強などの体制強化等を推進しながらも増益





セグメント別業績ポイント　システムインテグレーションサービス（ＳＩＳ）事業

ソリューションや開発サービス等の拡大により増収、管理体制強化等により増益

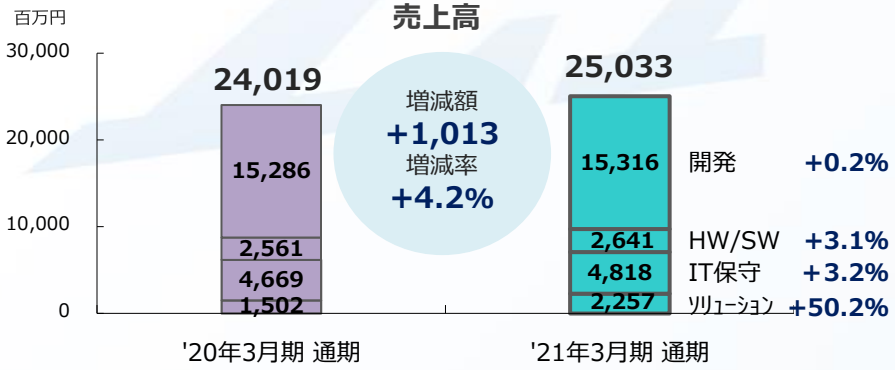
●開発サービス
銀行や保険など金融業向け案件が減少したものの、公共および情報サービス業向けなどの案件が伸長

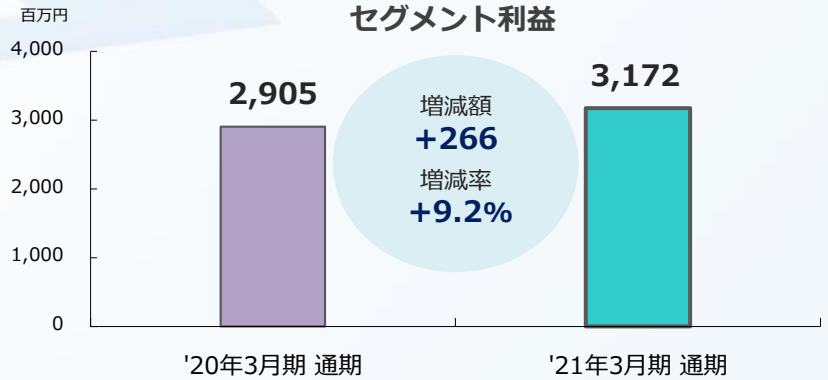
●ＨＷ／ＳＷ販売
クラウドサービスの拡大等により需要は縮小しているものの、更新案件の獲得等により増加

●ＩＴ保守サービス
前期（2020年3月期）のHW／SW販売が堅調に推移し契約更新案件が増加

●ソリューションサービス
テレワーク需要に対応したリモート接続ソリューションやマルチクラウドにおける開発管理ソリューションの販売が拡大

セグメント利益は、開発サービスの管理体制強化等により収益性が改善し増益





連結貸借対照表ハイライト（前期末比）

財務基盤の安定性に配慮しつつ、経営環境の変動に対応可能な手元資金を継続確保

（百万円）

科目	‘20年3月期末	‘21年3月期末	前期末比増減
資産合計	**22,383**	**24,626**	**+2,242**
流動資産	14,976	16,349	+1,372
固定資産	7,407	8,277	+870
負債合計	**10,420**	**12,965**	**+2,545**
流動負債	9,515	10,032	+516
固定負債	904	2,933	+2,028
純資産合計	**11,963**	**11,661**	**△302**
現預金	4,653	6,367	+1,713
有利子負債	3,033	4,843	+1,809
自己資本比率	**53.4%**	**47.3%**	**△6.1p**

増減ポイント

資産

【流動資産】
- 現金及び預金の増加 +1,713
- 受取手形及び売掛金の増加 +1,011
- 仕掛品の減少 △1,113

【固定資産】
- ソフトウェアの増加 +701

負債

【流動負債】
- 1年内返済予定の長期借入金の増加 +1,336
- 短期借入金の減少 △1,500

【固定負債】
- 長期借入金の増加 +1,932

純資産

【純資産】
- 利益剰余金の減少 △320

連結キャッシュ・フロー計算書ハイライト

事業基盤強化のための投資を推進しつつ、フリーキャッシュ・フローが改善

（百万円）

科目	‘20年3月期 通期実績	‘21年3月期 通期実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	**2,693**	**1,969**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△2,445**	**△1,358**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**79**	**1,091**
フリーキャッシュ・フロー	**247**	**610**
現金および現金同等物の増減額（△は減少）	310	1,713
現金および現金同等物期首残高	4,343	4,653
現金および現金同等物期末残高	**4,653**	**6,367**

発生ポイント

営業キャッシュ・フロー

・税金等調整前当期純利益	1,001
・減価償却費	860
・のれん償却額	72
・長期滞留仕掛品評価損	1,248
・売上債権の増加額	△1,010
・法人税等の支払額	△526

投資キャッシュ・フロー

・有形固定資産の取得による支出	△453
・ソフトウェアの取得による支出	△1,074

財務キャッシュ・フロー

・短期借入金の純減少額	△1,500
・長期借入金の返済よる支出	△732
・長期借入れによる収入	4,000
・配当金の支払額	△622

2022年３月期 連結業績予想

連結業績予想（前期比）

売上伸長を見込むものの、基幹システム刷新等のIT投資や販売・管理費の増加などにより営業利益は前期並となる予想
当期純利益は大幅増益の予想

（百万円）

科目	‘21年3月期 通期実績	‘22年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	**43,693**	**47,200**	**+3,506**	**+8.0**
営業利益	**2,117**	**2,100**	**△17**	**△0.8**
営業利益率%	*4.8*	*4.4*	△0.4p	-
経常利益	**2,242**	**2,075**	**△167**	**△7.4**
経常利益率%	*5.1*	*4.4*	△0.7p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	**304**	**1,390**	**+1,085**	**+356.1**
自己資本当期純利益率(ROE)%	**2.6**	**11.2**	**+8.6p**	**-**

（注）前期比で社内IT投資は約3.5億円増加する見込みです。

セグメント別業績予想（前期比）

セキュリティ事業は増収かつ大幅増益、SI事業は増収も子会社の減益影響で利益は微減
基幹システムの社内IT投資などにより全社共通費用は増加

（百万円）

売上高	‘21年3月期 通期実績	‘22年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	18,659	20,500	+1,840	+9.9
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	25,033	26,700	+1,666	+6.7
合計	43,693	47,200	+3,506	+8.0

セグメント利益	‘21年3月期 通期実績	‘22年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,541	3,400	+858	+33.8
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	3,172	3,100	△72	△2.3
合計	5,714	6,500	+785	+13.7

全社共通費用	△3,597	△4,400	△802	-

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

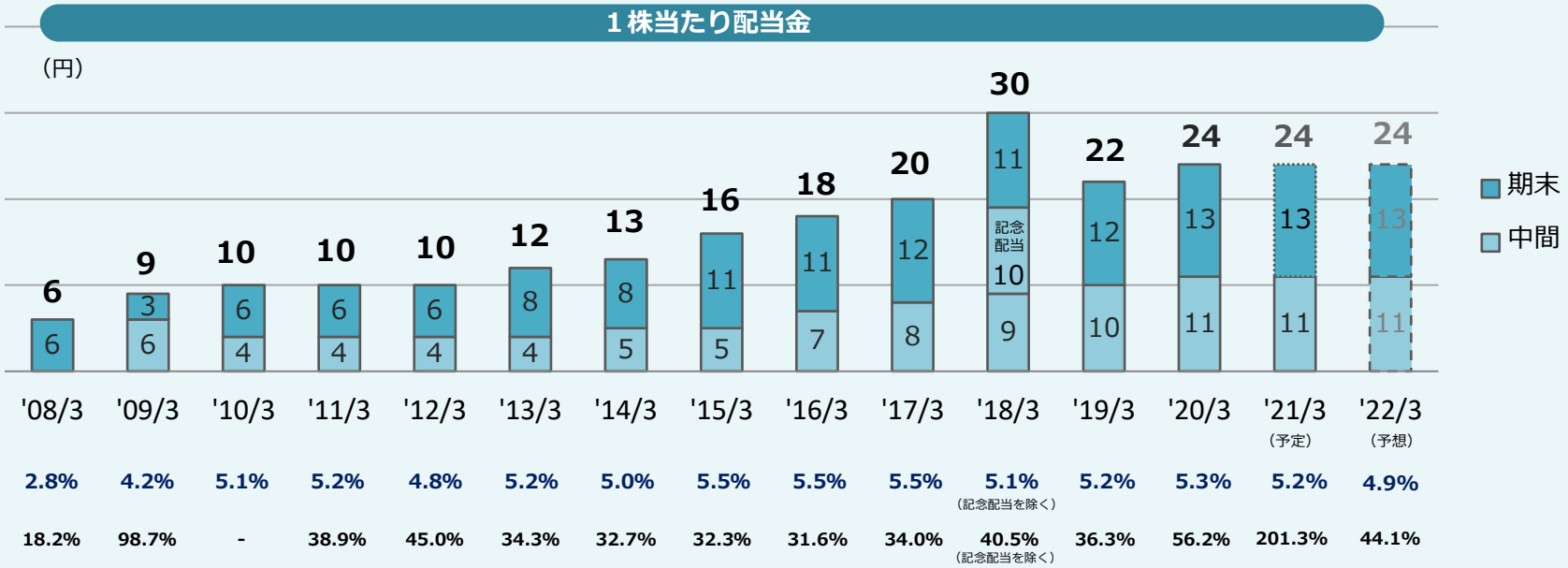
株主還元

株主還元（年間配当）

年間配当は24円の予定、今期は24円の予想

配当方針

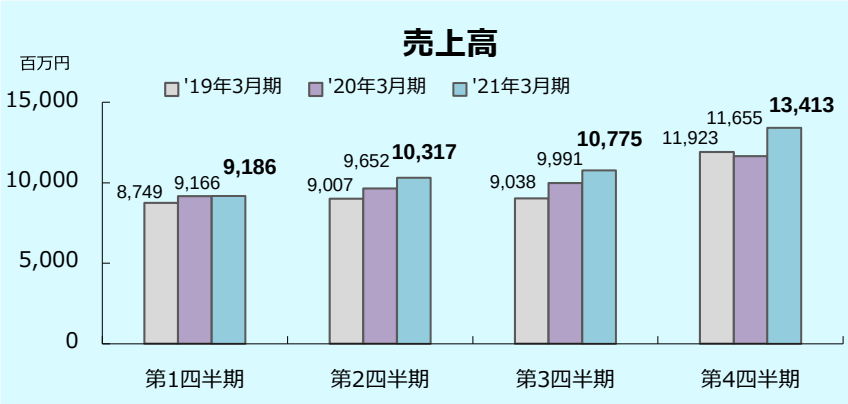
- 長期的かつ安定的に保有いただくことを目的に、継続的に安定した配当水準を維持
- 基本指標はDOE（株主資本配当率）５％

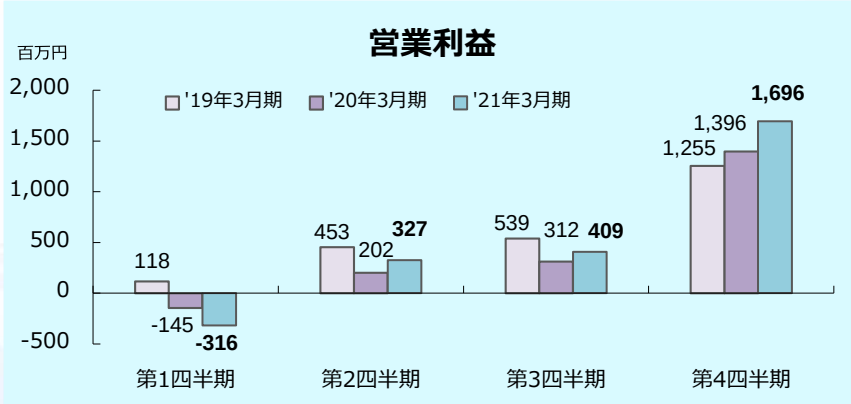


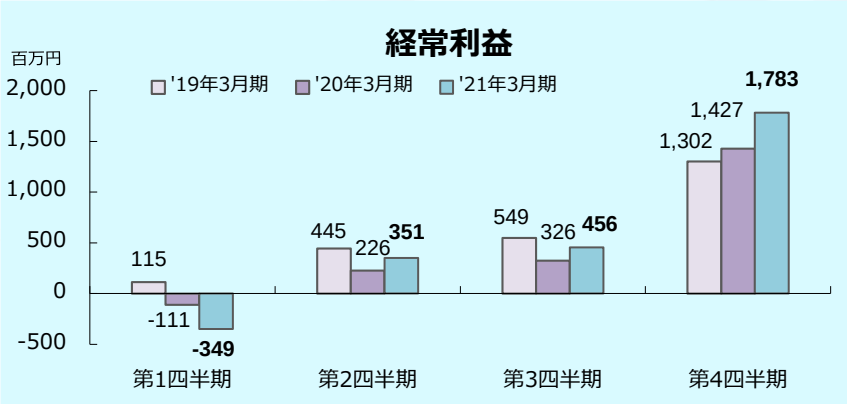
	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3（予定）	'22/3（予想）
期末	6	3	6	6	6	8	8	11	11	12	11	12	13	13	13
中間	6	6	4	4	4	4	5	5	7	8	9	10	11	11	11
記念配当											10				
合計	6	9	10	10	10	12	13	16	18	20	30	22	24	24	24
DOE	2.8%	4.2%	5.1%	5.2%	4.8%	5.2%	5.0%	5.5%	5.5%	5.5%	5.1%（記念配当を除く）	5.2%	5.3%	5.2%	4.9%
配当性向	18.2%	98.7%	-	38.9%	45.0%	34.3%	32.7%	32.3%	31.6%	34.0%	40.5%（記念配当を除く）	36.3%	56.2%	201.3%	44.1%

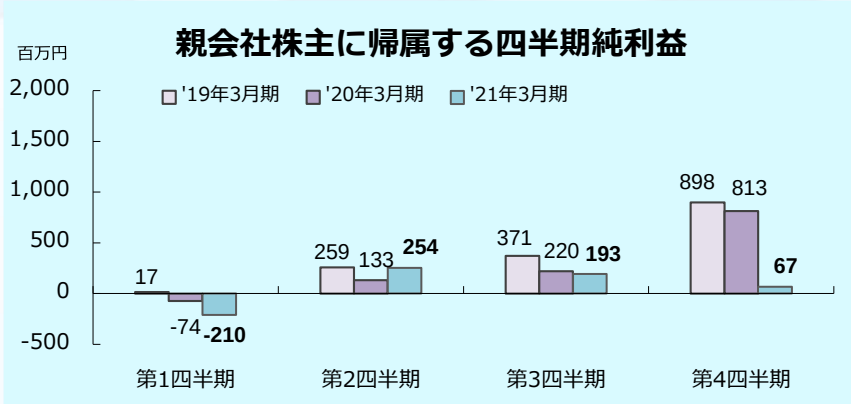
補足資料
（各種指標）

連結業績推移（四半期）







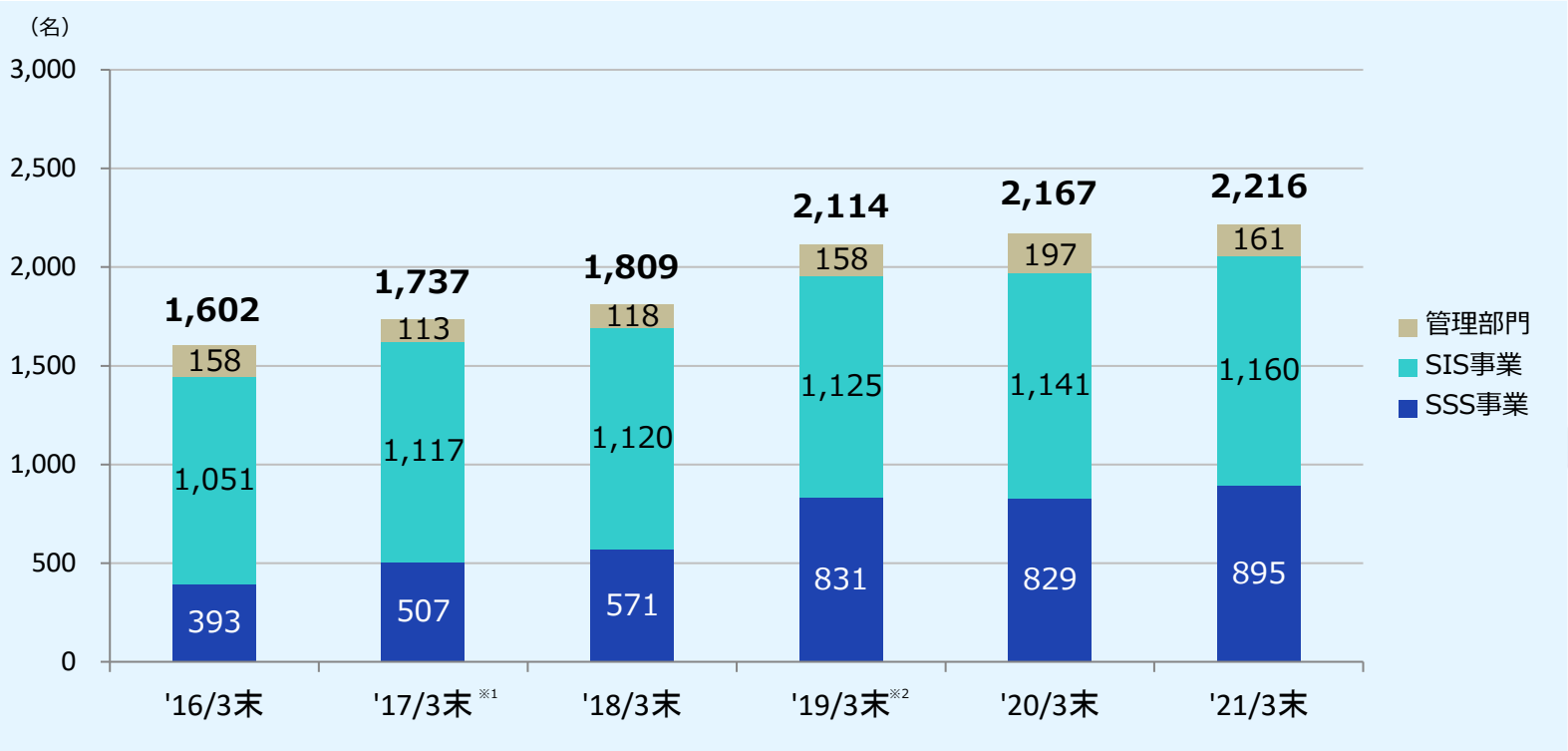


連結業績（20/11/10予想比）

（百万円）

科目	'21年3月期 通期予想(20/11/10)	'21年3月期 通期実績	予想比	
			増減額	増減率(%)
売上高	**44,000**	**43,693**	**△306**	**△0.7**
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	18,700	18,659	△40	△0.2
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	25,300	25,033	△266	△1.1
営業利益	**1,510**	**2,117**	**+607**	**+40.2**
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,200	2,541	+341	+15.5
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	3,100	3,172	+72	+2.3
全社共通費用	△3,790	△3,597	+192	-
営業利益率%	*3.4*	*4.8*	*+1.4p*	-
経常利益	**1,620**	**2,242**	**+622**	**+38.4**
経常利益率%	*3.7*	*5.1*	*+1.4p*	-
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,000**	**304**	**△695**	**△69.5**
自己資本当期純利益率(ROE)%	**8.2**	**2.6**	*△5.6p*	-

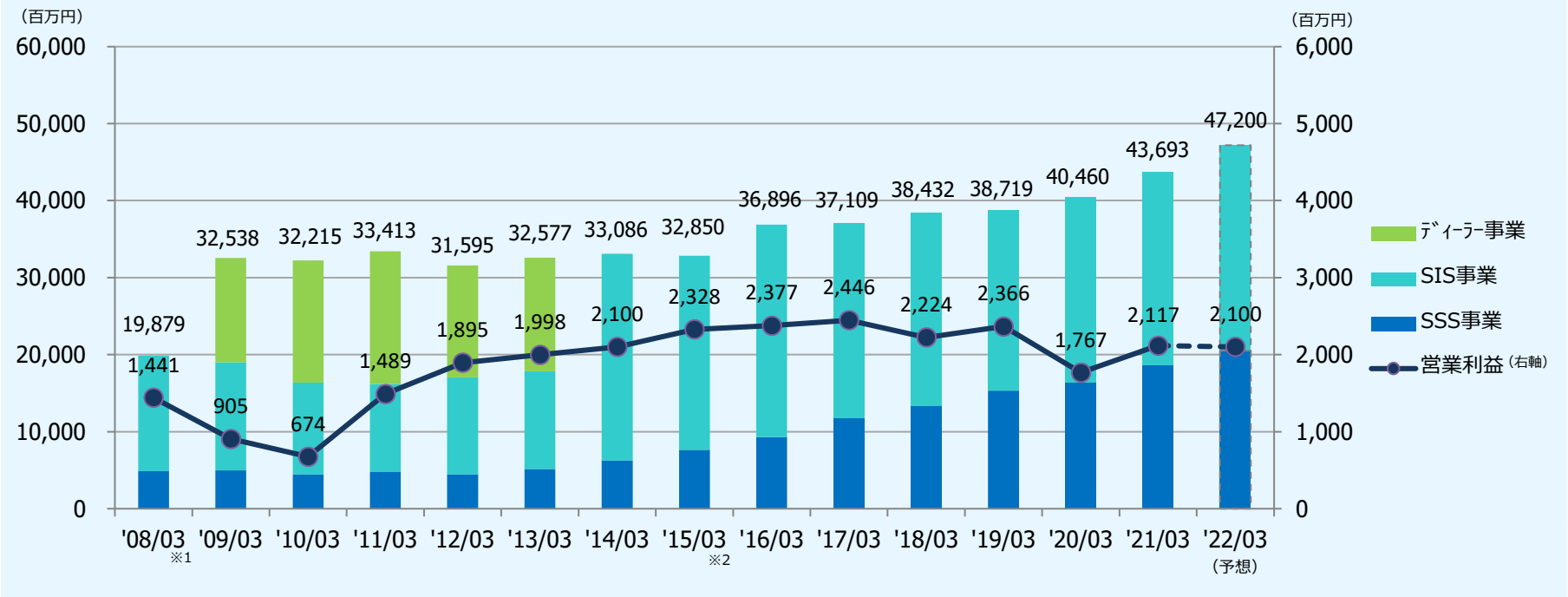
連結従業員数の推移



※1　2018年３月期より、定年再雇用の増加や契約の長期化などを鑑み、契約社員を含めた基準に変更しています。加えて、主に管理部門において、関連する業務に沿った事業区分に見直しています。なお、ＳＳＳ、ＳＩＳの両事業に携わる従業員について、稼動状況を踏まえた区分としております。
2017年3月末の人員数は同基準により遡及して算出していますが、2016年3月末については従来基準の従業員数となっています。

※2　2019年3月期以降のSSS事業における連結従業員数は、2018年4月2日に子会社化した㈱アジアンリンク（現 ㈱ラックサイバーリンク）の従業員が含まれています。

連結業績推移（セグメント別）



※1　旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。

※2　事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

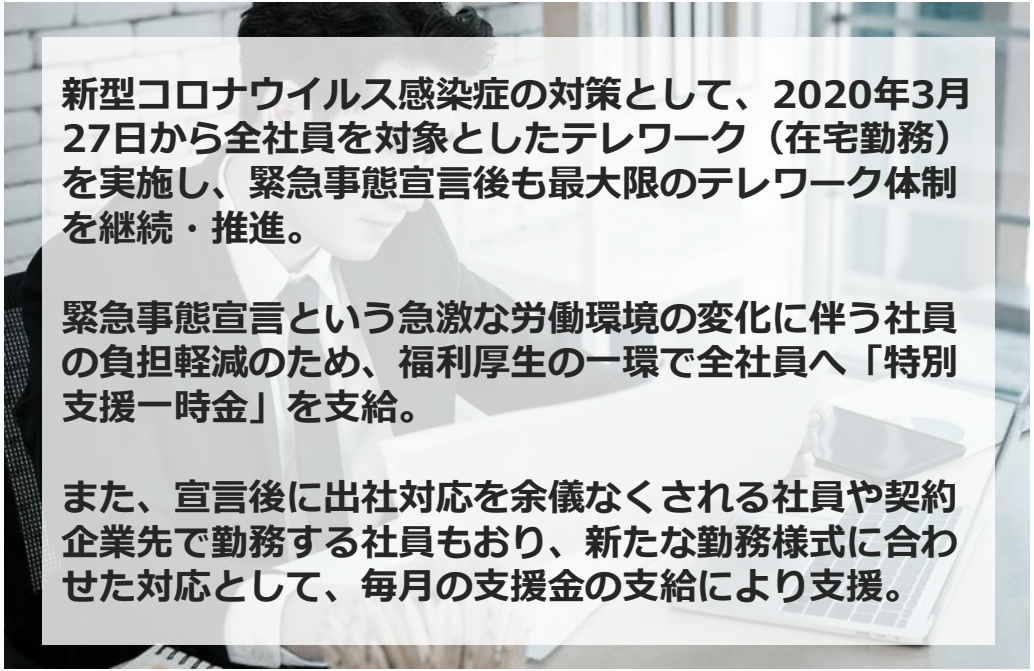
サブセグメント別業績予想（前期比）

（百万円）

売上高	‘21年3月期		‘22年3月期		前期比	
	通期実績	構成比%	通期予想	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス（ＳＳＳ）事業	**18,659**	**42.7**	**20,500**	**43.4**	**+1,840**	**+9.9**
セキュリティコンサルティングサービス	3,510	8.0	3,750	8.0	+239	+6.8
セキュリティ診断サービス	2,651	6.1	2,800	5.9	+148	+5.6
セキュリティ運用監視サービス	5,993	13.7	6,550	13.9	+556	+9.3
セキュリティ製品販売	5,063	11.6	6,200	13.1	+1,136	+22.5
セキュリティ保守サービス	1,441	3.3	1,200	2.5	△241	△16.7
システムインテグレーションサービス(ＳＩＳ)事業	**25,033**	**57.3**	**26,700**	**56.6**	**+1,666**	**+6.7**
開発サービス	15,316	35.1	16,810	35.6	+1,493	+9.7
ＨＷ／ＳＷ販売	2,641	6.0	2,910	6.2	+268	+10.2
ＩＴ保守サービス	4,818	11.0	4,450	9.4	△368	△7.6
ソリューションサービス	2,257	5.2	2,530	5.4	+272	+12.1
合計	43,693	100.0	47,200	100.0	+3,506	+8.0

補足資料
（事業トピックス）

全社員を対象としたテレワークを実施し、緊急事態宣言後も最大限の体制を継続・推進
福利厚生や労働環境改善の一環で社員を支援



新型コロナウイルス感染症の対策として、2020年3月27日から全社員を対象としたテレワーク（在宅勤務）を実施し、緊急事態宣言後も最大限のテレワーク体制を継続・推進。

緊急事態宣言という急激な労働環境の変化に伴う社員の負担軽減のため、福利厚生の一環で全社員へ「特別支援一時金」を支給。

また、宣言後に出社対応を余儀なくされる社員や契約企業先で勤務する社員もおり、新たな勤務様式に合わせた対応として、毎月の支援金の支給により支援。

特別支援一時金の支給

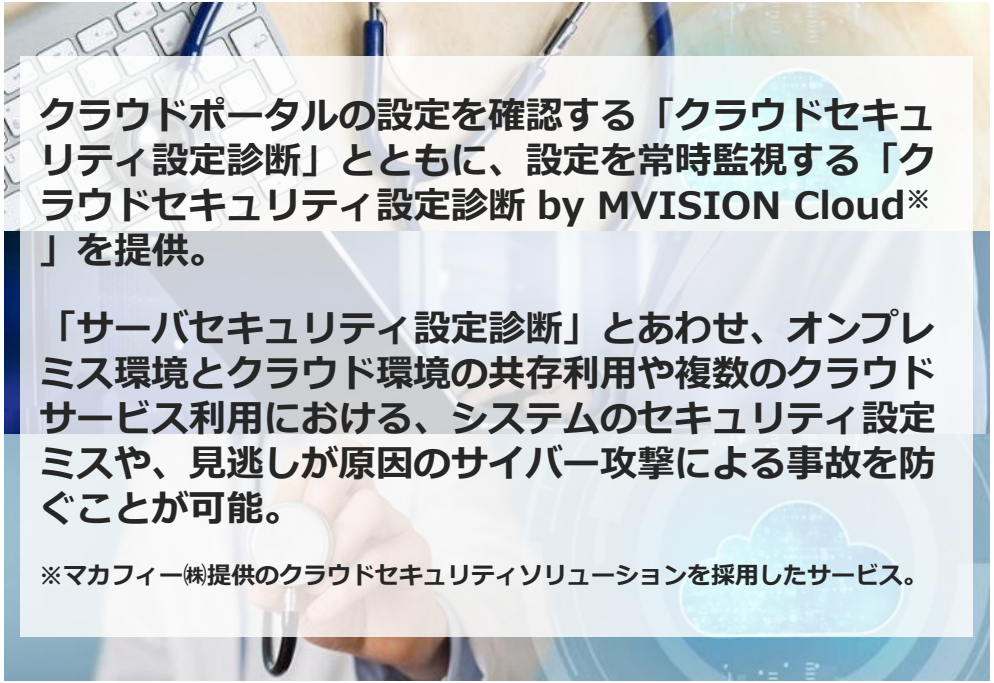
支給金額	一律30,000円
支給日	2020年5月20日

各種支援金の設置

支給金額	月額4,000円
対象	在宅勤務支援金 週3日以上の在宅勤務者で所定の条件を満たした場合
	客先常駐支援金 主としてお客先に常駐勤務する場合
	出社対応支援金 週3日以上出社対応業務に従事しており、在宅勤務をすることができない場合
支給期間	2020年8月1日～2021年3月31日

セキュリティ　withコロナ　クラウドセキュリティ設定診断サービス　新　2020年5月開始

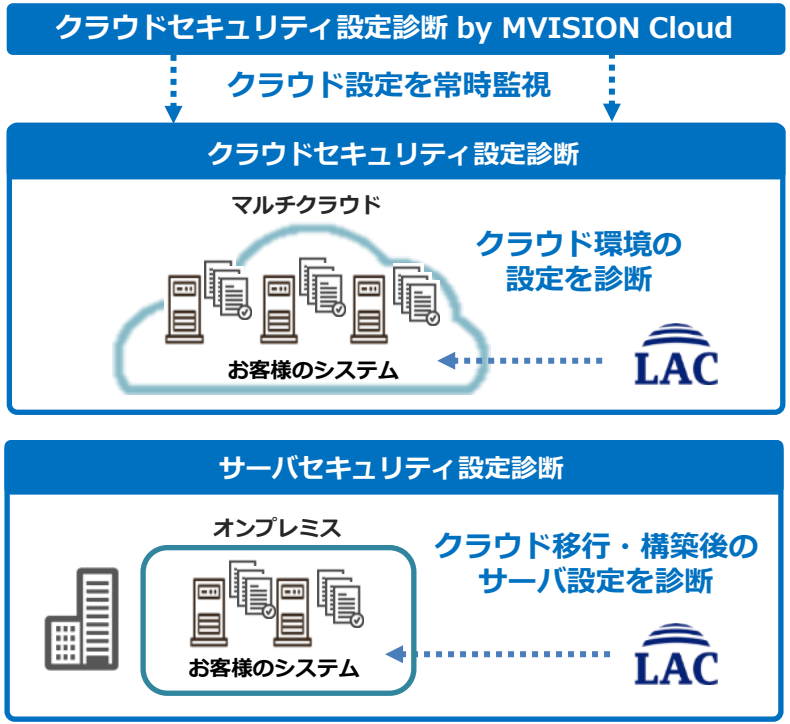
クラウド活用からの情報漏えいやシステムの不正利用を防ぐ セキュリティ設定診断サービスを提供



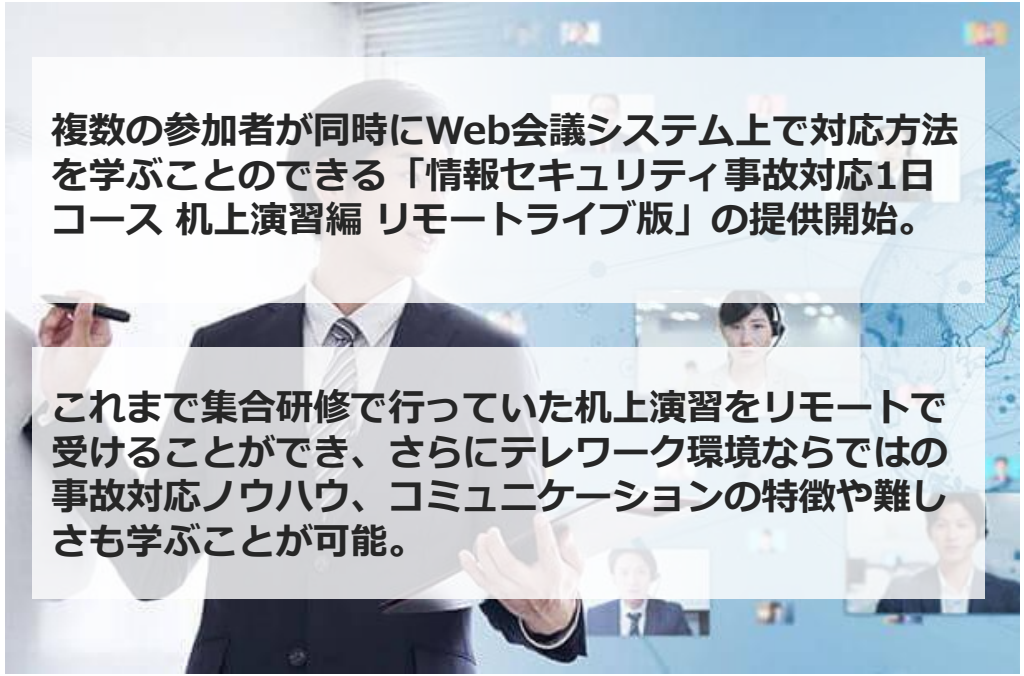
クラウドポータルの設定を確認する「クラウドセキュリティ設定診断」とともに、設定を常時監視する「クラウドセキュリティ設定診断 by MVISION Cloud※」を提供。

「サーバセキュリティ設定診断」とあわせ、オンプレミス環境とクラウド環境の共存利用や複数のクラウドサービス利用における、システムのセキュリティ設定ミスや、見逃しが原因のサイバー攻撃による事故を防ぐことが可能。

※マカフィー㈱提供のクラウドセキュリティソリューションを採用したサービス。



ラックセキュリティアカデミーによるセキュリティ教育・訓練サービス
テレワークに対応したリモートライブ版の机上演習を提供



複数の参加者が同時にWeb会議システム上で対応方法を学ぶことのできる「情報セキュリティ事故対応1日コース 机上演習編 リモートライブ版」の提供開始。

これまで集合研修で行っていた机上演習をリモートで受けることができ、さらにテレワーク環境ならではの事故対応ノウハウ、コミュニケーションの特徴や難しさも学ぶことが可能。

企業担当者

在宅勤務

セキュリティ事故の際対応しきれず

Web会議システム上で対応方法を学習

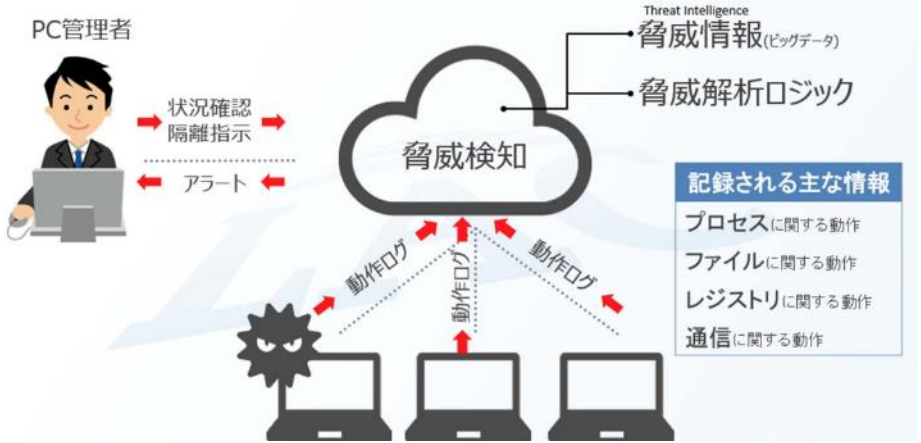
情報セキュリティ事故対応1日コース
机上演習編 リモートライブ版

テレワーク環境ならではの事故対応ノウハウ、
コミュニケーションの特徴や困難さを学習

セキュリティシステムの監視外となる社外PC（端末）の不振な挙動の検知と対応が可能なEDRを提供

PC内の動作ログをサーバーに集約し、セキュリティベンダが保有している脅威情報と照合して脅威を検知。

脅威を検知した場合、管理者に電子メールなどでアラートが通知され、管理者はEDRの管理コンソールを操作することでPC の隔離などを実施可能。



カテゴリ	EDRなし	EDRあり
検知	アンチウイルスソフトで検知可能な場合もあるが、マルウェアを使用しない攻撃は検知できない。	マルウェアを使用しない攻撃も含め不審な挙動を検知可能。
封じ込め	端末を特定の上でLANから切り離し物理的に隔離する。	EDRの管理コンソールから隔離操作を行い、論理的に隔離する。
調査	プロキシログなどのログ調査、端末のフォレンジック調査により実施する。	EDR管理コンソール内の調査機能を使用して実施する。
復旧	端末を初期化し再利用する。	EDRの対処機能により悪性ファイルなどを削除し利用再開する。

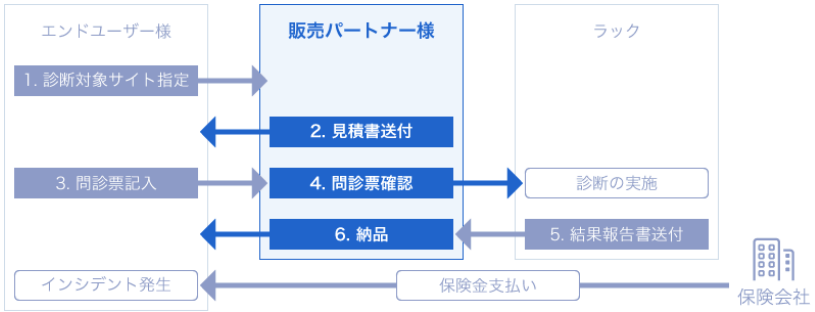
※EDR（Endpoint Detection and Response）

サイバー保険付帯により攻撃被害発生時の一次対応費用を補償
パートナー向け診断サービスの提供

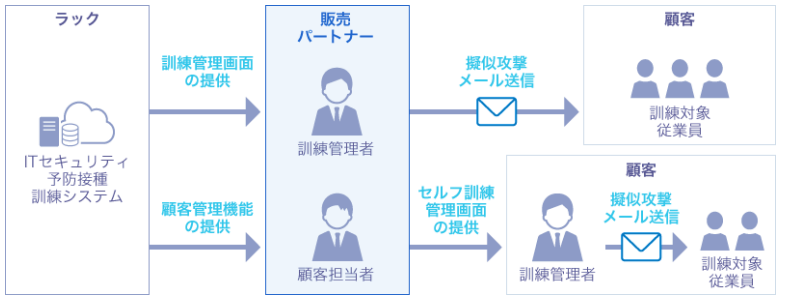
販売パートナー専用のサービスで、評価の高いラックの診断サービスと、万一の際の補償が受けられるサイバー保険をセット。

システム開発などを手掛けるパートナー企業はオールインワンでエンドユーザーにセキュリティ対策サービスの提供が可能。損害保険ジャパン㈱とラックが共同で開発したサイバー保険が自動付帯し、一体化して提供することで、お客様の保険加入の手間を軽減。

サイバー保険付き Webアプリケーション診断 "ファースト"



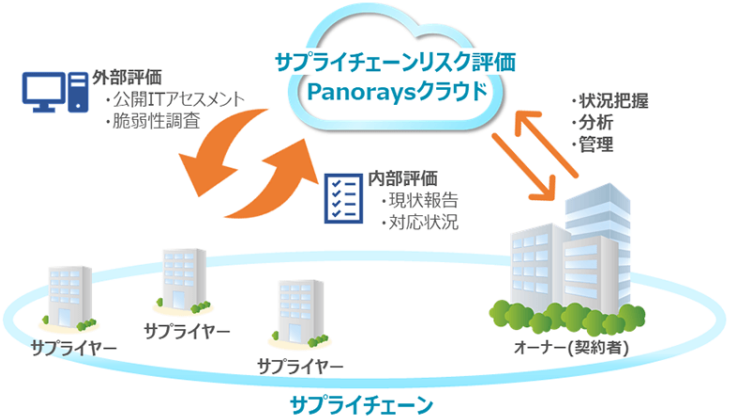
サイバー保険付き 標的型攻撃メール訓練 "プレミアム"



海外子会社や国内外の業務委託先に対するセキュリティ対策状況を可視化
セキュリティリスク評価の一元管理が可能

SOMPOリスクマネジメント㈱が提供するSaaS型のセキュリティリスク評価システム「Panorays」を活用し、自社に関係するサプライヤーの情報を共通のシステムに収集。

サプライチェーン全体のセキュリティ対策状況を把握し、どこに弱点があるか、攻撃を受けやすいポイントがあるかを可視化、一元的に管理することを可能。

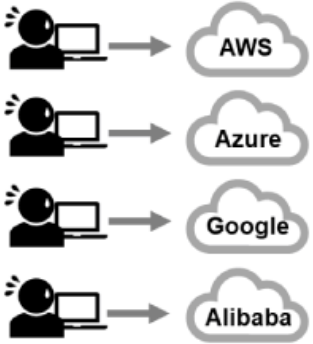


同業界他社比較による客観的な分析をスコア化して表示

マルチクラウド環境のセキュリティリスクを検出・可視化
アプリケーションの開発と運用を一体化しながらセキュリティを確保

複数のクラウド環境のセキュリティ設定状況が自社のセキュリティルールに準拠しているかどうかや、セキュリティ事故につながる設定ミスなどを検出・可視化。

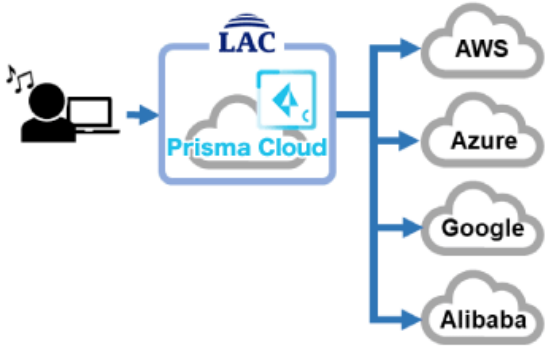
サービス導入無しの場合



- 複数のクラウド環境で個別にセキュリティ対策
- 各種業界標準※のポリシーに対応できない
- 設定や対応をするエンジニア不在
- 事故が発生しても気がつかない
- 日本特有の対策に対応できない

※ CIS、NIST、PCIDSS、HIPAA、GDPR など

サービス導入した場合

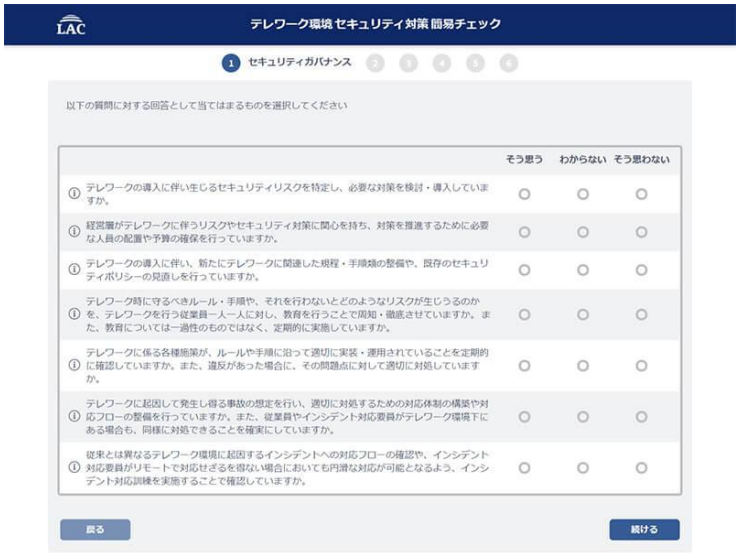


- 複数のクラウド環境を一括してセキュリティ対策
- 各種業界標準※のポリシーに準拠
- 設定や対応をラックのエンジニアがサポート
- 事故の発生を早期に検知
- ラック独自のポリシーにより日本特有の対策可能

セキュリティ テレワーク支援 **テレワーク環境セキュリティ対策簡易チェック** 新 2021年1月開始

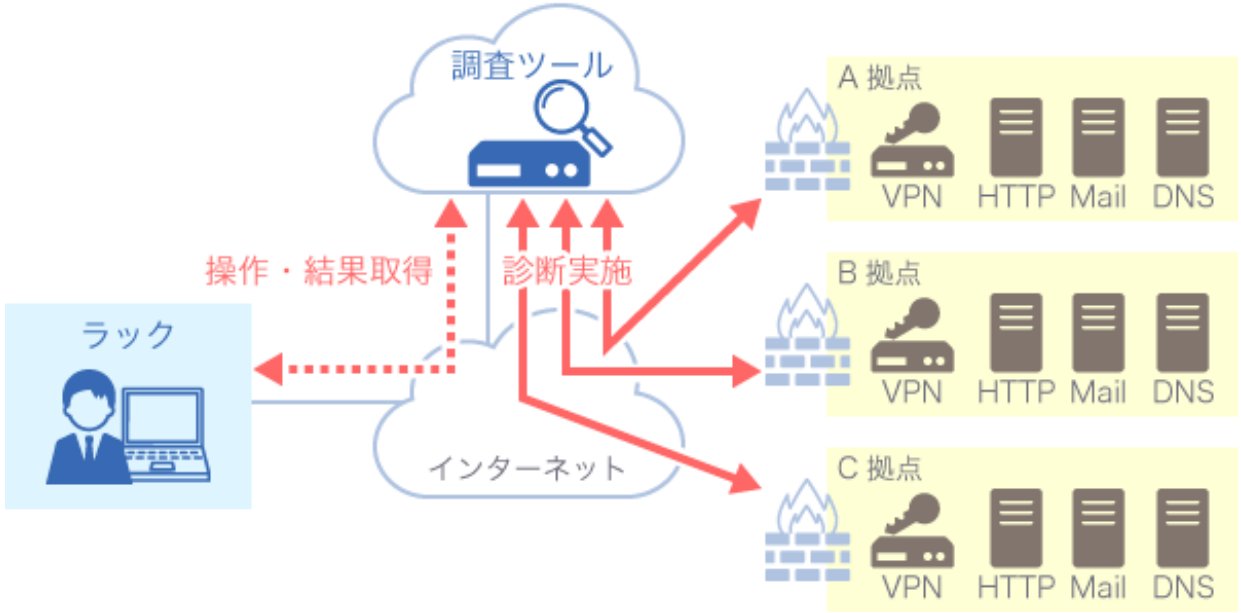
企業のテレワークセキュリティ状況を自己診断できる無料Webサービスを公開
専門知識を持たない方でも状況調査が可能

ラックの専門的な経験と知識を反映したアセスメントシートを用意し、質問票にチェックを入れていくだけで、自社のテレワークセキュリティの状態を診断。テレワーク環境の導入や拡大によって変化したセキュリティリスクを簡単に把握。



テレワーク対策やクラウドサービスの利用などで拡張されたシステムで インターネット上に管理漏れのものがないか調査

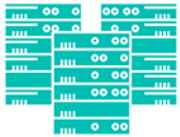
システム担当者の管理下にないIPアドレスの利用状況を把握し、ポートを閉じるなどの対策を行うことで、セキュリティ事故を防ぐ。プラットフォーム診断などの診断対象の選定にも活用が可能。



あらゆるデータ形式をリアルタイム検索、分析、可視化が可能
Elastic社と包括的なパートナー契約を締結し販売とソリューション開発で協業

Elastic Stack

各種の情報を収集し、索引付けしたうえで分析をすることで、隠された真実を知ることができるソリューション



ITシステムの動作記録分析

情報システムが記録する各種イベントログなどのアプリケーションデータの収集・分析により、システム運用や監査の効率化やIT資産の有効活用できる。

社内横断検索

企業内に蓄積されているドキュメント、社内のチャットやSNSの情報などを横断的に検索できることで、迅速に目的の情報が発見できる。

セキュリティ調査分析支援

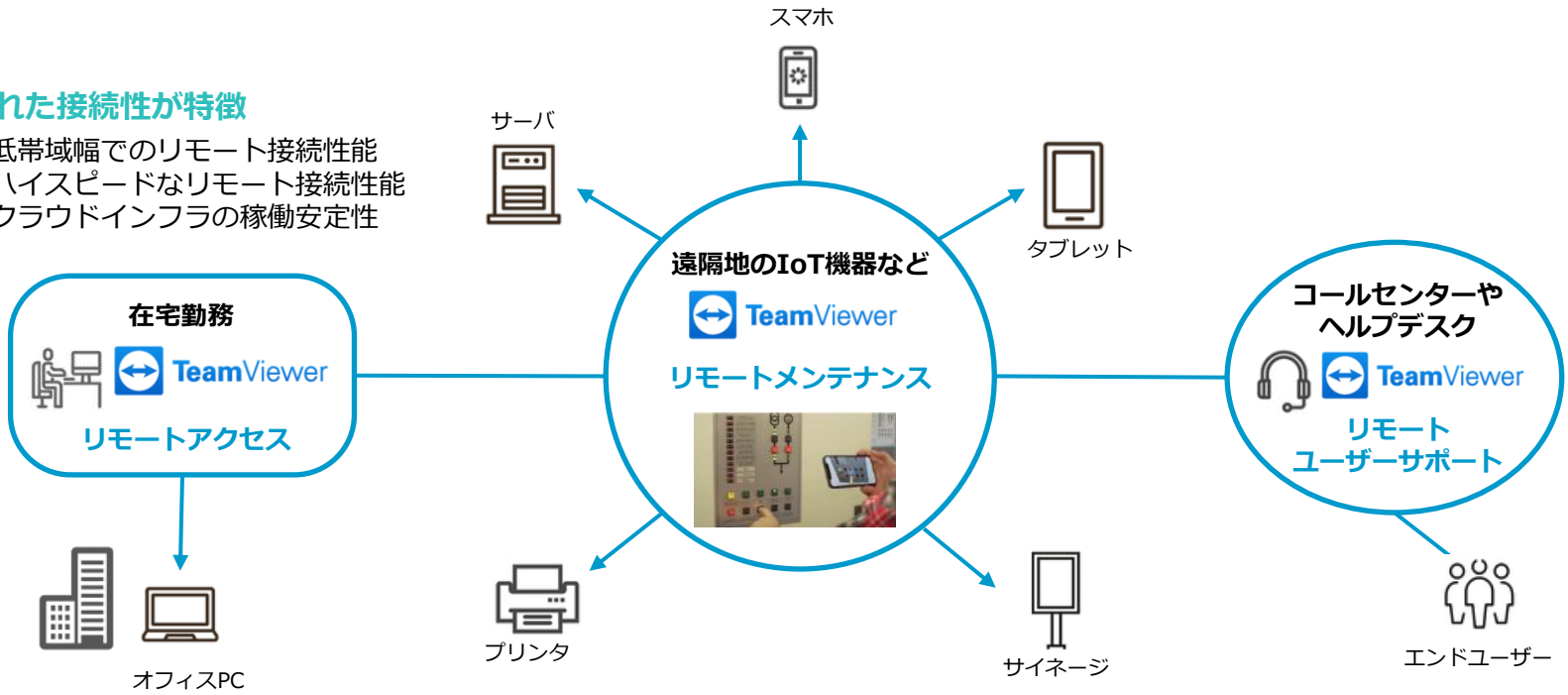
様々なセキュリティ製品のイベントログ情報を集約・分析することで、サイバー攻撃の事実や予兆を早期に発見でき、被害の拡大を抑制できる。

リモートワークを実現する接続ソリューション
テレワークをはじめとする様々な働き方改革を支援

新型コロナウイルス感染症対応として顧客企業の事業継続を支援

優れた接続性が特徴

- 低帯域幅でのリモート接続性能
- ハイスピードなリモート接続性能
- クラウドインフラの稼働安定性

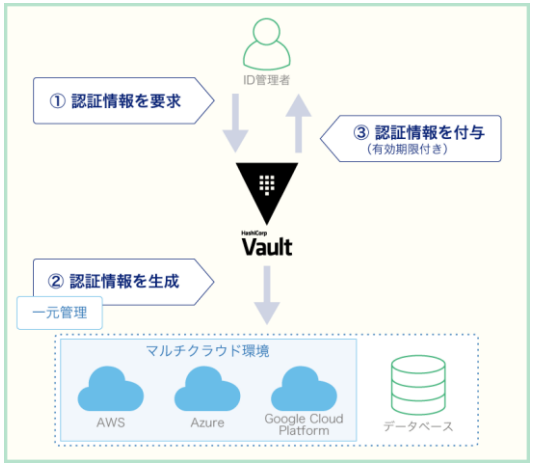


マルチクラウド環境での複数システムの認証情報を ユーザーに代わって安全に一元管理

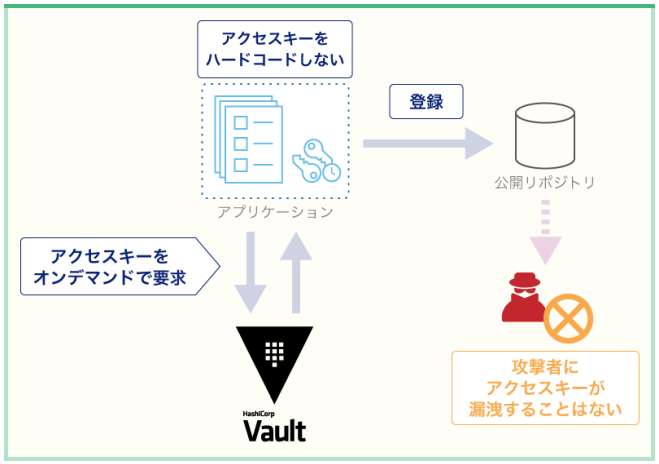
一時的にシステムにアクセスできるID、パスワードをVaultが自動生成し、IDに対して有効期限を設定することで自動廃止や使用期限の延長および手動廃止が可能。

統一したセキュリティポリシーに基づき自動化された管理手段を導入することで、安全性と利便性を高め、外部のみならず、内部の管理者や開発者の万一の不正な行動を防御。

最大の特徴「シークレットの動的管理」機能



アクセスキー不正使用による機密情報漏洩の防止



DX支援 HashiCorp Terraform Enterprise

コードで設定変更作業を管理することで、手作業による間違いを防ぐ
さらには自動化により迅速に大量のサーバの設定変更を反映させることが可能

クラウドのインフラ構築において、コードによる設定変更作業や履歴管理ができ、さらにマルチクラウドやハイブリッドクラウドの作業の自動化も管理画面から容易に行うことができるソリューション。

ポリシーチェック機能「Sentinel」を用いて、アクセス権のないユーザが重要な構成変更をできなくしたり、決められた時間外の構成変更を保留したりするなど、操作ミスや作業ミスなどからインフラを破壊してしまう事故を防ぐ。

個別設定が必要な手動でのクラウドリソース管理

HashiCorp Terraform 共通の構成ファイルで記述することが可能

```
variable "aws_region" {}

variable "base_cidr_block" {
  description = "A /16 CIDR range definition, such as 10.1.0.0/16, that the VPC will use"
  default = "10.1.0.0/16"
}

variable "availability_zones" {
  description = "A list of availability zones in which to create subnets"
  type = list(string)
}

provider "aws" {
  region = var.aws_region
}
```

セキュリティ事業やシステム開発事業で培った経験を活かし 街全体を見守る総合的なセキュリティ分析サービスを提供（コードネーム：town）

セキュリティ分析ソフトウェアサービスで提供するもの

豊富な管理機能を無料で提供

「town」では、ネットに接続されるセンサー、IoT機器のアセット管理、死活管理等の機能や監視、分析・解析を行う管理画面など、必要だと想定される基本的な機能を無料で提供する計画。

加えて、本サービスは既存のシステム環境への導入を容易にするため、クラウドサービスでも利用可能とする予定。

地域ごとのニーズに応える柔軟性と拡張性

地域のシステム環境への組み込みが行ないやすいよう、導入作業を行うシステム開発事業者や連携する他のソフトウェアなどを限定しない、運用監視体制についても希望する地域事業者を自由に選ぶことができる柔軟性のあるサービスとする計画。

また機能の拡張性にも優れ、地域特性によって管理、分析の対象とするセンサーの追加や、運用に合わせた分析ルールの追加、編集も行うことができる仕様を目指す。

啓発活動　セキュリティレポート等の発行

自社サービスを提供するなかで得られた知見をまとめたレポートを発行

JSOC INSIGHT

vol.26 ～28

セキュリティ診断レポート

2020春　2020秋　2021春

サイバー救急センターレポート

第9号　第10号

CYBER GRID JOURNAL

Vol.10　Vol.11

「withコロナ」経営者が今やるべきこと

テレワーク導入便覧

ゼロトラスト時代のSOC構築と運用ガイドライン

事業内容

他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと
独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

会社概要

会 社 名	株式会社ラック
住　　所	東京都千代田区平河町２－１６－１　平河町森タワー
設　　立	2007年10月1日
代 表 者	代表取締役社長　西本 逸郎
資 本 金	10億円
業　　績	連結 436億円、営業利益21億円（2021年３月期）
従業員数	連結 2,216名（2021年3月31日現在）
拠　　点	東陽町オフィス、名古屋オフィス、福岡オフィス、ラックテクノセンター秋葉原、 ラックテクノセンター北九州、シンガポール支店
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ　3857

LAC
ともに、イキル

※　本資料は2021年5月現在の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
※　LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。
※　その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社ラック
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1
平河町森タワー
Tel 03-6757-0107（IR直通）
ir@lac.co.jp
www.lac.co.jp